



東京新都心ロータリークラブ

【お互いを尊重し、楽しく豊かなロータリーライフを送りましょう】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 山口昭夫 幹事 石川佳照 創立 : 1988年9月21日

「第3回クラブ協議会②」

職業奉仕委員会委員長 内川 晃一

職業奉仕はロータリーでもっとも重要な理念と言われます。英語では「vocational service」です。vocational : 天職、天から与えられた、神様から与えられた世の中にためになる職業。その天から授かった職業の倫理性を高め、それを通じて広く世の中に貢献するのが職業奉仕です。今年度は「カーボンニュートラル」に焦点をあて、地球温暖化の現状認識、脱炭素化・二酸化炭素排出量削減に向け我々ロータリアンが日々できることを考えていきたい、を基本方針に掲げました。



下期の活動計画としては、

・2月15日(水)の卓話に石坂産業(株)、代表取締役の石坂典子様にご卓話いただきます。

石坂産業さんは埼玉県三芳町にあるリサイクル業の会社で、全ての廃棄物を資源としてリサイクルできる世の中を目指している大変注目されている企業です。是非、ご期待ください。

・4月12日(水)職場訪問、大成建設さん戸塚技術センターを見学します。

大成建設さんは製造するだけでCO2が削減される画期的なコンクリートの開発やCO2で発電するCO2活用地熱発電等、非常に興味深いイノベーションを起こしています。その最先端の技術センターを見学します。

下期、今年度の活動方針に沿って上記二つのイベントを企画しています。

是非、皆さまのご参加、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会委員長 児玉 譲

基本方針

公共イメージの増進のためにも、地域で社会奉仕を!

1. 継続事業

- (1) 新宿区肢体不自由児者父母の会への中元歳暮品の寄贈
- (2) 新宿シティーハーフマラソンへの協賛 (3) 新宿5クラブ合同奉仕事業積立会費の拠出
- (4) 日本盲導犬協会への賛助 (5) ロータリー希望の風奨学金への寄付
- (6) エコキャップ運動の推進 (7) 日本聴導犬協会への賛助
- (8) 新都心スマイル&ドリームガーデンの植栽 (9) ロータリーデー献血イベントin 新宿
- (10) ロータリーデー「海岸(川や湖も含む)美化プロジェクト」

2. 新規事業

子供食堂への経済的支援

上半期

継続事業の他に、新宿区内で運営されている子供食堂への経済的支援を開始しました。

子供食堂支援先 : (特)キッズ未来プロジェクト 理事長 猪爪まさみ氏

新宿区百人町3-3-11

下半期

新宿シティーハーフマラソンへの協賛、献血イベントなどの具体的なイベントが予定されており、また、子供食堂への経済的支援も次年度につなげていきたいと思っております。



2023年1月25日(水) 第1535回例会

「第3回クラブ協議会②」

職業奉仕・社会奉仕・環境保全・国際奉仕・R財団・
米山奨学・青少年奉仕・ブランディング・公共イメージ向上・
クラブ研修リーダー 委員会各委員長

次のプログラム

2023年2月1日(水) 第1536回例会

「花道のすゝめ」

華道家/付加価値デザインコンサルタント
吉田 祥子 氏 (紹介者 榎野慶太会員)

環境保全委員会委員長 佐々木 智

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、一昨年（2021年）7月、ロータリーの7つ目の重点分野として「環境」を追加しています。

今年度活動計画4つのうち2つを、今日は報告させていただきます。

1つ目のSmile&Dreamガーデン事業継続については昨年末、剪定とパンジーを60ポット植樹して参りました、また4月、アースディの取り組みとして、社会奉仕委員会・公共イメージ向上委員会と一緒に西新宿小学校3年生の皆さんと植樹を予定しています。

報告の2つ目ですが、緑のオーナー制度事業の詳細確認です、これは新都心が創立5周年の記念事業として行ったもので、1993年当時、熱海に樹齢24年のヒノキを1000坪の敷地に600本～700本、国の管理で育てており、今年で30年が経過しており、60年で伐採予定なので、後7年ほどでしょうか。林野庁から毎年、小冊子が送られて来ていますが、先輩会員が築いた事業の詳細確認をして参りたいと思います。



国際奉仕委員会委員長 北岡 修一 (カンボジア事業／ネパール事業担当)

【上半期の活動状況】

1. メルボルン国際大会の案内、参加促進、新都心ナイトを行うレストランの選定
その結果、参加者15名、ガバナーナイト参加者14名（申込済み）となりました。
2. ネパール追加井戸掘り事業 ヴァッタさん、ナガルジュンRCへの連絡

【下半期の活動について】

1. メルボルン国際大会参加
・5/27（土）**新都心ナイト** 現在お店選定中 担当：段谷会員、吉田(寿)会員
・5/28（日）**開会式参加**
・同日 **ガバナーナイト**
2. ネパール追加井戸掘り事業 担当：北岡委員長、吉田(寿)会員
半場会員の尽力により、本年度中に取り掛かれるのでは、できれば現地に行きたい。
3. カンボジア新都心スクールの状況確認 担当：北岡委員長



ロータリー財団委員会委員長 笹川 敏幸

上半期としては、11月のロータリー財団月間に財団の内容と当クラブの活用事例の卓話、12月にロータリーワークショップにて地区財団補助セミナーの受講をしました。
当クラブのメンバーは全員が年間ロータリー財団年次基金 \$ 150、ポリオプラス基金 \$ 30、ロータリー財団恒久基金 \$ 30、平和フェロシップ基金 \$ 20、の\$230を寄付しています。
なんとなく寄付しているだけでなく、これを活用していただくのも財団委員としての役割であり、寄付している意識と活用についての意識の醸成に努めたいと思います。



米山奨学委員会委員長 梶野 慶太

米山奨学委員会としては、後半、メンバーの皆様さらなる米山奨学金の理解を頂き、次年度以降の米山奨学生の受け入れと、寄付につなげていきたいと思っております。
私自身もそうでしたが、実際にカウンセラーを受けるまで、「この奨学金は本来必要としている学生の元に届いているのか」、「留学生よりも国内の学生に届けるべきなのでは」等疑問を持っていました。そんな疑念なく、新都心の皆さんが快く米山奨学生を今後も受け入れていける体制を作っていきたいと思っております。



青少年奉仕委員会委員長 佐原 且朗

(兼 青少年交換担当)



【上期活動報告】

1. 青少年交換留学生ガラティア・ガーデンさんを受け入れました。
カウンセラーは笹川会員に務めていただいております。
ホストファミリーも昨年笹川会員に務めていただきました。
2. 新宿区立落合第二中学校、新宿区立西新宿小学校を訪問し、当クラブの奉仕活動について協議しました。

【下期活動計画】

1. 「防災教育と音楽の集い」を新宿区立早稲田小学校で開催します。
2. 新宿区立落合第二中学校、新宿区立西新宿小学校と共同で奉仕活動をいたします。
3. 青少年交換留学生のホストファミリーを梅野会員に務めていただきます。
4. 「わんぱく相撲新宿大会」への協賛をいたします。

ブランディング委員会委員長 和田 佳久

基本方針

Smile, Dream & Act now!

活動計画

当クラブのキャッチフレーズである「Smile & Dream」に、今年度は「Act now!」を加え、単なる社交クラブにとどまらないアクティブでエネルギッシュなクラブであることを、主として現役世代であるノンロータリアンに印象付ける活動を実行いたします。



<上期の活動報告及び下期の活動について>

上期ですが、11月16日開催のオープン例会の際に、会員増強委員会への支援として、当委員会の委員自らがゲストを招待する活動を行いました。

下期ですが、3月15日開催予定のオープン例会の際にも、同様の活動を行い、当クラブの対外的なアピールの支援をしたいと考えております。

加えて、4月に開催予定の当クラブ献血ロータリーデーについても協力する予定であり、その他、他の委員会の活動の支援をしながら、当クラブがアクティブでエネルギッシュなクラブであることを対外的に印象付ける活動を行います。

委員長 和田佳久 副委員長 前田信吾

公共イメージ向上委員会委員長 平岡 直記

【上期の活動状況】

1. 社会奉仕委員会の活動サポートとして、10/9（新宿の日）新国立競技場外ブースにて、新宿区障害者福祉事業所等ネットワーク登録事業者への自立支援のための販売応援
2. 上記参加を促すため、競技場内にて行われた「クリアソン新宿対鈴鹿ポイントゲッターズ」戦の応援観戦

【下期に向けて】

1. 社会奉仕委員会の奉仕活動応援や各会員自らがより充実した活動にする為のサポート
2. ブランディング委員会が企画する献血会開催へのサポート
3. 地区公共イメージ委員会主催の「ぶっく・デ・アース」実施のうえ、集まったお金で【SMILE & DREAM GARDEN】への苗木植栽へとつなげる活動



クラブ研修リーダー 小川 恵司

本年度の基本方針は、クラブの将来のビジョンを達成するために、クラブとロータリーに対する理解を深め、会員のスキルを向上することです。

上半期は、クラブ研修リーダーとしては、特段の活動はありませんでしたが、親睦旅行などを通じ、若手会員と交流を深める中で、奉仕活動の意義を知っていただく機会になったかと思えます。

下半期については、若手会員と懇親会を開き、ロータリー活動の目的と意義をテーマとして、ファイヤサイドミーティングのような企画をしたいと考えていますが、感染状況もあるので、慎重に判断したいと思います。ブランディング委員会との意識も共有して、将来のクラブのあり方について考えを深める機会になればと思っています。

